

## 平成28年度第2回酒々井町総合教育会議 議事録

開催日 平成28年11月22日(火)

開催場所 役場中央庁舎3階会議室

出席者	町長	小坂 泰久	教育長	木村 俊幸
	教育長職務代理者	浦壁 京子	教育委員	石井 國治
	教育委員	村重 浩二	教育委員	林 洋子
事務局	教育次長	木内 達彦	総務課長	大塚 正徳
	政策秘書室長	伊藤 裕之	こども課長	七夕 夕美子
	こども課副主幹	伊藤 雄三	こども課主事(書記)	渡邊 しほ

1 開会時刻 10:00

2 町長挨拶

3 議題

(1) 教育環境の整備について

4 その他

5 閉会

6 閉会時刻 11:57

## 議事録

---

### 1 開会の言葉

七夕こども課長

ただ今より、平成28年度第2回酒々井町総合教育会議を開会いたします。

---

### 2 町長挨拶

小坂町長

皆さんおはようございます。町長の小坂でございます。本日、平成28年度第2回酒々井町総合教育会議を開催することができました。ありがとうございます。

本日の会議につきましては、議題でございますように、児童生徒の学校生活におけるハード・ソフト両面からの教育環境の整備についてご意見をお伺いしたいと考えております。真の地域づくり・学校づくりというものについて併せて考えていきたい、このように考えております。本日の会議が実りあるものとなりますようご期待申し上げます、挨拶とさせていただきます。

よろしく願いいたします。

### 3 議題

七夕こども課長

続きまして、議題でございますが、酒々井町総合教育会議運営要綱第3条第2項により、議長は町長が務めることとなっておりますので、今後の議事進行は町長にお願いいたします。よろしく願いいたします。

小坂町長

それでは議題（1）教育環境の整備についてを議題とします。皆さんの忌憚のないご意見をお伺いしたいと存じます。

木村教育長

町長より、今回の会議は、教育委員会で議題を設定されてはいかがですか、と話をいただきました。総合教育会議の議題にふさわしいものは何か、県内の市町村の状況を調べ、教育委員と協議しました。その中で、本日の議題をお願いしたわけです。

町教育振興基本計画では、三つの基本理念のもと、分野別の施策を策定しています。学校現場や家庭・地域・団体などへの支援、教育環境の整備がキーワードになってくるものと考えられます。ハード面では、酒々井町は小中学校の耐震化が終了し、各教室へのエアコン整備、太陽光発電設備の設置など、他市町村に先駆けた施設整備を実施していただいております。おかげさまで、児童生徒たちは、安全で快適な環境のもとで学校生活を送っております。ソフト面では、学校等の教育現場に手厚い人員配置をしていただき、充実した教育施策の実施に繋がっております。

現在、町総合計画後期基本計画の策定と併せて、来年4月からスタートさせる教育振興基本計画も策定中ですので、この機会に教育環境の整備について、町長と意見交換できることは非常に意義のあるものと考え、議題を設定させていただいたところです。

小坂町長

後期基本計画と教育振興基本計画の策定期間は一致しています。このほかに、いわゆる「教育大綱」も考慮していかなければなりません。

木村教育長

現在、教育大綱は、教育振興基本計画をもって充てています。県内の他市町村を見ますと、千葉県が教育振興基本計画と教育大綱を別に定めている影響なのでしょうか、教育振興基本計画と大綱を別に定めている市町村が多い状況です。

小坂町長

教育委員会としては、まず、教育振興基本計画を定めていただく中で、町長であ

る私が定める大綱につきましても、このエッセンスから大きく離れてしまうのは、一貫性に欠けると考えています。後期基本計画と教育振興基本計画の整合性を図って策定していく中で、別途、作業を行うのは、もったいないと言いますか、そのように感じています。

木村教育長

後期基本計画を策定する中で、教育分野の「豊かな心を育み歴史を活かした文化創造のまちづくり」という基本目標は残るのでしょうか。

小坂町長

企画財政課を中心に策定していますが、私は、基本目標は変えなくて良いものと考えています。もちろん、個別施策の時点修正は必要と考えています。教育委員会から、基本目標を変更したい、というご要望等があれば、内容をお伺いすることは、当然考えております。

浦壁教育長職務代理者

千葉県の大綱を見ると、学校教育でほぼ占められています。ここに生涯学習が含まれると、さらに充実した内容になると思っています。

小坂町長

私も、同感です。千葉県も今後変わってくると思います。町がいわば総合行政なのに対し、国・県は専門性が部門ごとに強いので、そのような影響が出ているのだと思われまます。

私は、酒々井町の教育は、保育園を含めて義務教育期間の15歳までを一貫したプランで進めたいと考えています。委員の皆さんのご意見をお伺いいたします。

浦壁教育長職務代理者

保育園を含めた小中連携が酒々井町の特徴です。これを深めたいのですが、幼稚園が入ってきません。幼稚園は、町が直接運営していませんが、幼稚園に通うお子さんも酒々井町の子どもですので、絡めて考えたい問題です。

小坂町長

民間の主体性がある中で、子どもにとって重要な教育情報の共有などができる環境は必要と考えています。小学校入学時に、幼稚園と保育園の出身者で差が出るケースがある、と聞いています。私は、こうした差をなるべく減らしたいと考え、様々な独自の学びを保育園に取り入れたいと考えております。

木村教育長

行政がどこまで入っていけるか。町は、現在、私立幼稚園に対してどのような関わりを持っているのか、念のため説明してください。

七夕こども課長

町内の幼稚園2園は、私立幼稚園としての位置付けです。町の予算等としましては、幼稚園就園奨励費補助金を支出している状況でございます。これは、国庫が3分の1で、残りは町の支出です。ご家族の所得に応じております。町外の私立幼稚園に通っているお子さんも対象としています。

小坂町長

就園奨励費補助金は、国の制度に伴うものでしたね。このほかに、町独自の助成

についても説明してください。

七夕こども課長

町内の幼稚園に対して、園児一人当たり1,000円、また、一園に対して20万円以内の運営費・教材費の補助を町単独で実施させていただいています。

浦壁教育長職務代理者

町の保育園では、英語教育を始めました。幼稚園での状況はいかがなのでしょう  
か。

小坂町長

私の認識では、幼稚園では既に実施しております。保育園が遅れていると感じた  
ので、対策をとったものです。昭苑幼稚園は卒園の際に英語で歌を唄ったりしてい  
るようです。いずれにしても、民間を選ぶ方は、その方針を選んでいるわけですの  
で、なかなか行政と一緒に、というのも難しい状況ですが、情報交換はできますの  
で、そのように進めていきたいと考えています。

木村教育長

小中連携は、しつけ、あいさつなどで方向性を一致させることはできます。協議  
する場があります。保育園も連携の中に入っています。こうした流れを指導主事で  
作成して、保育園も園長と相談して取り組んでいくことは可能だと考えています。

小坂町長

幼稚園の実態を把握した中で、幼稚園でも保育園でも小学校1年生のスタートラ  
インに同じように立てるよう、ギャップがないように事務局で状況を把握してみ  
てください。

木村教育長

保育園と町内幼稚園の担当レベルでの連絡会などはあるのですか。

七夕こども課長

昭苑幼稚園は、幼稚園と保育園を備えていますので、こども課の職員と幼稚園の  
経営者や先生との接点があります。町立保育園の保育士と私立幼稚園の先生方の交  
流はあまりないと思われます。実態等については、今後、把握していきたいと思  
っています。

木村教育長

連絡会などを組織して情報交換ができれば交流が進むと考えます。

七夕こども課長

子育ての会議などで集まっていただくことは可能ですので、そのような機会に意  
見交換をすることは大事だと考えています。

小坂町長

教育振興基本計画と教育の大綱の話から、人づくりの話に入りましたが、石井  
委員いかがですか。

石井委員

私も自分の子どもが通わせていただいて、教育委員を拝命して少しでも教育や保  
育などに良い形で携わっていただければと考えております。

小坂町長

林委員はいかがですか。

林委員

幼児教育や英語教育に関しては、前期基本計画や教育振興基本計画にも記述されています。こうした内容を精査し、点検して、後期計画や新しい教育振興基本計画にも反映していければよろしいのかなと思います。

小坂町長

おっしゃるとおりで、そのような形で進むと、教育の大綱もおのずから決まってくるものと考えられます。

林委員

教育大綱を別途考えていくのは、効率面でいかがかと考えます。生まれてから15歳までを一つの流れでとらえていこうとする町のプランに賛成です。

小坂町長

重要なことをおっしゃったと思います。県の教育委員会は、スタートをおそらく小学校1年生と考えていると思われます。それ以下の年代は、健康福祉部の問題と考えているのではないのでしょうか。酒々井町は総合行政ですので、法律上は福祉の分野である保育園を教育委員会で実施し、総合的に考えているところです。また、私立学校ですが、町には東京学館高等学校もあります。いわば、保幼小中高という流れの中で施策を実施できる環境にありますので、これを最大限活かしたいと考えています。

村重委員

英語教育に関連して、ハード面の話をします。タブレットですが、主要5教科の無料アプリがあります。幼稚園児が使えるものもあります。中学生の受験対策に使えるものもあります。タブレットの導入によって、できることが広がると考えています。タブレットを導入するためには、Wi-Fi環境の整備が不可欠です。

先日、視察に行った成田市下総みどり学園は小中一貫校ですが、60インチのテレビモニターで授業を展開していました。また、市川市の塩浜学園では、38インチのテレビモニターを使用していました。酒々井町でも、小中学校にテレビが設置してある教室はありますが、まだ十分ではないので、各教室にテレビを設置しWi-Fi環境を整備して、その上でタブレット教育を展開してはどうかと、提案させていただきます。

小坂町長

無料アプリを使用して、いわば遊び感覚で学ぶことができるということですか。

村重委員

そういうことになります。

小坂町長

貴重なご提案でした。モニターテレビを設置して、タブレットで授業展開をしているということですね。

村重委員

下総みどり学園でタブレットによる授業を実施しているわけではありません。タブレットによる授業を導入しているのは、千葉県内でもまだまだ少ない状況です。

小坂町長

タブレットを使用して、有意義な授業展開が望めるというご提案でした。

村重委員

この7インチのタブレットは、2万円台での購入が可能なので、比較的廉価での導入が見込めるのではないのでしょうか。

浦壁教育長職務代理者

タブレットの導入については、教育委員会内でも協議をしています。予算と関係することですが、導入をお願いした経緯があります。

小坂町長

1校に何台必要と想定されましたか。

浦壁教育長職務代理者

各校80台×3校と想定しました。

木村教育長

試算もしております。タブレットも様々で、キーボードを付けて、周辺機器なども含めると、あくまでカタログ価格ですが1台12万円ほどになります。キーボードが付けばタブレットもパソコンも差異がありませんので、パソコン教室との棲み分けも考えなくてはならない、などの問題も見えてきました。事務局で検討をしています。

浦壁教育長職務代理者

地デジ対応のテレビが教室には設置されていません。

石井委員

校長先生からもそのように聞いています。

小坂町長

テレビをモニターとして、タブレットの使用を含めた授業展開ができるということですね。学校は教室が多いので、検討課題としてお伺いさせていただきます。

木村教育長

若干話を戻して、教育の大綱の話をさせていただきます。千葉県では、学校教育に特化していますが、私は生涯学習・生涯教育という視点は必要だと考えています。酒々井町の大綱は年齢をどうとらえるのか、この部分は教育委員会では決めかねる部分もあります。ここを私は気にかけています。

浦壁教育長職務代理者

教育は、一生をスパンとして考えて良いのではないかと私は考えます。

林委員

私も生涯学習・生涯教育という部分は入れていきたいと考えます。ただし、大綱の中にもあまりにも多い情報を入れても難しいのではないのでしょうか。

村重委員

教育委員会の点検・評価の中では、毎年毎年目標を決め、達成できない部分は翌年度に修正をしていく、という作業を実施しています。

小坂町長

人づくり、という点から考えると、生涯をカバーしていく方向がよろしいのでは

ないでしょうか。酒々井町は、高齢者がお元気です。介護保険料も千葉県内で2番目に低い状況です。こういう状況を次の代に引き継ぐためにも、生涯学習という考えが良いのではないのでしょうか。通常、まちづくりはハードを指しますが、酒々井町は人づくりを中心にソフトも充実させる考えです。

本日の整理ですが、人づくりという点では、全体で連携しながら進めるということでした。また、教育大綱のカバーエリアとしては、0歳から高齢者まで、というご意見であったと思いますが、教育長いかがですか。

木村教育長

そのようなご意見だったと思います。本日の議題として、教育環境の整備ということでしたので、委員の意見があれば、お聞きいただく機会としたいのですが。

小坂町長

教育環境の整備ということで、ご意見はございますか。

林委員

各学校にアシスタントの先生を配置していただき、酒々井町は手厚い体制だと学校の先生からも意見が出ています。私自身もそのように感じています。そのような中、校外学習に養護教諭が随行していない、行ってしまうと校内の対応ができない、という話でした。これは検討課題だと考えています。

浦壁教育長職務代理者

元養護教諭として申し上げます。怪我や病気の対応だけでなく、養護教諭にはメンタル面を見る側面もあります。単に保健室に来るのではなく、教諭に会いに来ることもあります。必要な時に対応できない事態がないように、体制を整えたいと考えています。

小坂町長

学校サポーターの方々のご協力も必要ですが、養護教諭のように、専門性を伴う場合は、例えば浦壁委員のように元職の方のご協力をいただくことはできるのでしょうか。町では、人材登録を始めますので、養護教諭という資格だけでなく、保健師・看護師の資格を持った方の登録により、対応が可能かどうか検討していただければと思います。

石井委員

酒々井小学校と大室台小学校のグラウンドの整備を求める声が多いです。特に、酒々井小学校は状態が悪いです。子ども達が元気に状態の良いグラウンドを走り回れるようにできればと考えております。大室台小学校も、砂質の影響で非常にまぶしい状態です。こちらも改善が必要だと考えております。

浦壁教育長職務代理者

今年は、学校を多く訪問しました。室内の隅に不要備品が置いてあるスペースもありますので、これを処分して広く有効なスペースを使えるようにしたいと考えております。

村重委員

体育施設整備ですが、町民体育館が建設できれば一番良いのですが、これは難しいと考えています。そうしたときに、酒々井中学校の体育館の充実が求められ

ます。屋根の大規模修繕、あるいは、現在の水銀灯の電灯をLEDにする、などの改修をしながら利便性の向上を図っていきたいです。まずは、ステージの電灯を優先して改修していただきたい。また、グラウンドの拡張整備も進め、生徒の学習環境を向上させたいと考えています。

石井委員

町体育館の改修・建設は確かに困難で、撤去も難しいのですが、立ち入り禁止を明確にさせていただきたいと考えています。

小坂町長

ただいまご指摘のあった場所などは、私も確認させていただきます。

現在、建設単価が上がっていますので、新規の建設はしばらく様子を見ることも必要と考えています。

いずれにしても、本日は皆さんの貴重なご意見をお伺いできて非常に有意義でございました。議題は、ここで終わりにいたします。

次に、その他でございますが、資料を持ってきましたので、ご説明をさせていただきます。資料は、千葉銀行総合研究所が「千葉県創生戦略プラン」として作成したものです。

2015年の国勢調査の人口動態を見ますと、酒々井町は減少となっています。

次は、市町村を偏差値化したデータですが、1位は印西市となっております。続いて、鴨川市、酒々井町となっています。次に、総合評価ですが、まち・ひと・しごと、という項目の評価では、酒々井町は3番目の評価となりました。前回は欄外でした。次の5年後にも、10位の表の中にいられるようにしたいと考えています。アウトレットができて、雇用が生まれたことが大きいようです。入浴施設もできました。リネン工場も建設される予定で、産直施設も建設に向けて動いています。産業が少しずつ増えて町を支えていただける予定です。産業は良いのですが、人口が問題になってまいります。人口が増えている市なども、周辺部は問題を抱えています。酒々井町は人口が若干減少傾向ですが、市街地と市街地から離れた場所の利便性が変わりません。これを強みに駅などを拠点とし、地権者の方々のご理解をいただいて、住宅を増やすことも考えなければなりません。

また、評価を下げている要因としては、病院不足が挙げられますが、これも誘致ができそうな状況ですので、しっかりと着地させてまいりたいと考えています。

最後に、今後も教育委員の皆さんには、忌憚のないご意見をいただきまして、より良い行政を進めてまいりたいと考えておりますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

他になければ、以上で、平成28年度第2回酒々井町総合教育会議を閉会とさせていただきます。お疲れ様でございました。